

平成28年度自己評価及び学校関係者評価書

1 本年度の学校評価をふりかえって

秋商キャリア教育をもとに、日々の授業を大切に、ビジネス実践や外部講師などを活用して、社会人基礎力を身に付けさせ、主体的に物事を考えさせる取り組みをしている。

教職員は、一人一人が高い意識を持ち、学校全体として取り組んでいる。今後も商業高校の教育の特色を活かし、秋田県商業教育の中心校としてその役割を果たすべく、保護者アンケートを参考にした自己評価と学校関係者の意見を真摯に受け止め学校の発展に努めていきたい。

2 評価結果の概要

分野	評価項目	取り組み状況と成果・課題	評価	改善策	学校関係者評価の意見
本年度の目標	・キャリア教育の充実及び、手応えのある実践	・キャリア教育の冊子を利用して4年目。見直しは必要なものの計画的にLHR等で活用が進んでいる。 各授業でキャリア教育を意識した実践を積み重ねていく。	B	・キャリア構造図の見直しをして、目指すことと行動を一致させていく。	・具体的でわかりやすい冊子になっている。生徒の自己評価の充実がカギではないか。
教育課程	・教育課程について全職員が再認識し、日常の学習活動に効果が現れるよう明確な目標を持った取り組み	・教育課程検討委員会を開催し、評価と改善を図っている。 各教科の科会を充実させ、組織的な授業改善に取り組んでいる。	A	・各教科において、学習意欲が向上するよう、授業改善に努める。	・商業の特色のある授業が外部に見えるようにしてほしい。
学習指導	・主体的学習態度の育成により、基礎学力の定着と、学力の向上	・学習意欲を高めるために授業改善に努め、本時の目標を常に示すことができた。 基礎学力向上テストも定着してきている。	B	・アクティブラーニングを実践し、授業改善に努める。	・高度な資格取得を実現して欲しい。
進路指導	・進路意識の早期確立と学年進行に応じた継続的な進路指導 ・進路情報の的確な収集と提供	・進路指導部と3年部の連携は今年も充分に行った。2・3年部の進路情報交換会のほか、各学年で随時講演等を行った。	B	・1・2年生に対する働きかけにおいて改善の余地がある。特に、難関進路を実現させるには早期に意識付けを行う必要がある。	・100%近い進路実現をしているところを継続して欲しい。
生徒指導	・高校生らしい立ち居振る舞いの育成 ・交通安全意識の徹底 ・防犯意識の向上 ・いじめを許さない学校作り	・内外のマナー向上や「よい行い」の推進を図る。 ・登下校時の学校周辺の交通安全指導の実施。 ・自己管理の徹底と死角のない環境づくり。 ・早期発見とチームによる対応。	B	・挨拶の声が小さい生徒に対して、地域からの支援もいただきながら全職員で声をかけ、意識を高めさせる。 ・事故やいじめ等について、定期的に指導を繰り返す未然防止に努める。	・挨拶がしっかりしているところは継続してほしい。 校外では秋商の誇りをもって行動してほしい。
保健	・基本的生活習慣の指導（欠席情報の管理、学校感染症予防教育など） ・環境美化の徹底	・学年部と連携し健康で安全な学校生活のための指導と情報提供に努める。 ・「保健だより」の発行などにより生徒、保護者の意識の向上を図る。	A	・欠席・出停は保健統計ソフトへ養護教諭が入力し、感染症情報システムへは保健部職員が入力し、スムーズに管理する。	・特になし。
教育相談	・安全で快適な学校生活の指導(相談活動の体制下)	・スクールカウンセラーの活用などにより、心の健康についての意識を高め、自己管理の方法を理解させる。	A	・保健室における生徒の情報を保健日誌に、詳細にまとめ、日々の健康管理をする。	・特になし。
特別活動	・自己実現を促す計画的・組織的なHR活動の支援 ・生徒会委員会活動の活性化 ・全校生徒参加による自主的・創造的生徒会活動の支援 ・特色ある学校行事・部活動の支援	・学年部との連携を図り、理解と協力を得ながら進める。 ・生徒会執行部からの働きかけを大切にする。	B	・地域や保護者との連携が深められる事業に改善しながら、全職員による指導体制を確立する。	・硬式野球やサッカー、レスリングの活躍は素晴らしい。 AKISHOP等は新鮮さが必要。
図書	・情報センターとしての図書館利用の活性化 ・図書委員会活動の充実 ・読書活動の推進	・図書館で授業がやりやすいように設備の充実に努めた。 ・図書館だよりを生徒主体で作成させ、かつ、スキルアップのために連続で作成させた。 ・「本を読もう週間」のポスター教室掲示による啓蒙活動。	A	・生徒主体の活動により、生徒自身のスキルアップや向上心、達成感につなげるよう、授業で活用できる図書館づくりに努めた。	・特になし。

家庭地域	<p>・計画的なHP更新(今年度87回)やメール配信等の活用による、迅速で広範囲な学校情報の提供および管理</p>	<p>・HPでは、生徒の活躍や学校行事の状況など最新の情報を提供した。一斉メール配信により非常時の連絡もできている。また、個人情報については、職員が危機感を持って管理している。</p>	A	<p>・HPの迅速な更新や、クラス通信・学年通信等の発行、メール配信を利用した情報発信に今後も努める。</p>	<p>HP は更新回数が多く学校の様子がよくわかる。</p>
------	---	--	---	---	--------------------------------